

保育計画成果報告書

| | |
|---------|------------------------------|
| 法人名等 | 株式会社シャイン |
| 施設名 | ジョイナス保育園 神辺 |
| 報告者（役職） | 若林 美香（管理者） |
| 住所・連絡先 | 広島県福山市神辺町新湯野 54 番 12 1F |
| | ☎ 084-967-5511 |
| | E-mail n-kannabe@j-hoiku.com |

○タイトル（保育計画）

木漏れ日のような日陰の下、自然を感じながら安全にゆったりと過ごし、想像力豊かにのびのびとたっぷり遊びこむ

○主な助成備品

ウッドデッキ安全柵、日よけ用ポール、ピクニックガーデンハウス

1. 保育計画策定の目的

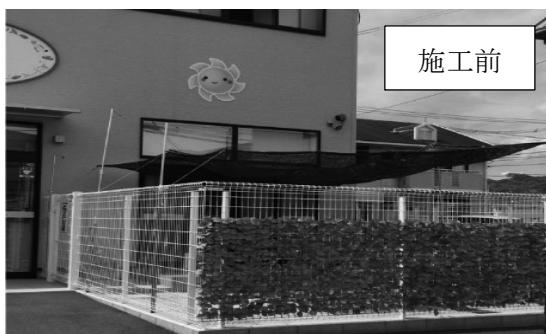
当園は、2020年4月に開園した対象年齢0～2歳児の小規模型事業所内保育施設です。設立当初の園庭は、保育室から続くウッドデッキ、砂場、少しの遊びスペースがありましたが、ウッドデッキには安全柵がなかったため、低年齢の子どもたちが落下する危険性があり、保育室の延長として使用したいものの、なかなか用途がない状態でした。

また、園庭は少しの遊びスペースと砂場のみでしたので、子どもたちに充実した遊びを保障できていないのではないかという懸念がありました。何か遊具があればより遊びの幅が広がるのではないか、という思いからガーデンハウスを設置させていただきました。それによって子どもたちの遊びが想像力豊かに展開し、友だちや保育者とのやり取りを楽しんだり、時には落ちつける場所として、子どもたちがそれぞれのペースでたっぷり遊びこめるようになれば、と考えました。

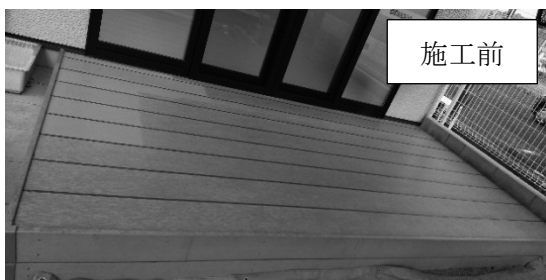
そして、日よけ用ポールとウッドデッキ安全柵の設置をしていただいたことによって、より安心安全に遊ぶことができるようになり、保育室とは違った開放的な雰囲気の中でのびのびと活動したり、過ごしやすい季節には、園庭で遊ぶことのできない乳児でも、ウッドデッキで自然を感じながら、情緒豊かに過ごしてほしい、という思いから保育計画を策定いたしました。

2. 具体的な実施内容

① 日よけ用ポールを設置しました。



② 既存のウッドデッキに安全柵を設置しました。



③ 園庭にピクニックガーデンハウスを設置しました。



3. その成果と評価

①日よけ用ポールを設置することで、ウッドデッキと園庭との広範囲を日よけネットで覆うことができ、夏場の強い紫外線や熱中症からも子どもたちを守り、安全に外遊びや水遊びを楽しむことができました。また、外遊びができない乳児は、春や秋の気持ちの良い季節に、ウッドデッキで風や陽ざしを感じたり、小鳥や犬の鳴き声を聞いたりしながら情緒豊かに心地よく過ごすことができ、保育室だけでは感じることができない自然に触れることが可能になりました。



②既存のウッドデッキに安全柵を設置する前は、ウッドデッキから落下する危険性があったり、転倒した際にウッドデッキの角で頭を打ったりと安全に遊べず、注意を払う保育者の負担も大きいものでした。安全柵に囲まれたことで、ウッドデッキと園庭での安心安全な遊びが可能になり、また保育室の掃き出しの窓をあけ、保育室の延長として広く開放的な空間が広がり、はいはいを楽しんだり、行ってみよう、やってみようという探求心の芽生えにもつながりました。



③園庭での砂場遊びが、ガーデンハウスがあることによって、子どもたちの模倣遊びが展開し、遊びの幅が広がり、より想像力を膨らませて遊ぶことが可能になりました。また、保育者や子ども同士でのやりとりを楽しんだり、社会性の発達にも繋がっています。



4. 今後の課題と展望

この度助成していただいたことで、子どもたちや職員が安心して過ごせる場所の環境が整い、より多くの笑顔が増えました。

しかし、環境さえ整えばよいということではなく、保育者の工夫しだいで、日々の活動がより充実したものになります。常にどうすれば子どもたちの活動がより豊かなまなびの場になりえるのかを探求し、さらにより多くの経験ができる取り組みを行っていくことが必要不可欠です。保育室では制限されるようなダイナミックな遊びや、食育を兼ねた行事食をウッドデッキで食べたりなど、四季折々の様々な遊びや体験を、現状に満足することなく、子どもたちに提供し続けていく努力と工夫をしていきたいと思えます。

以上